

みずほCustomer Desk Report 2017/05/22 号(As of 2017/05/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.35 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.43	1.1111	123.81	0.9795	1.2952	0.7421
SYD-NY High	111.70	1.1212	124.93	0.9805	1.3040	0.7470
SYD-NY Low	111.04	1.1097	123.40	0.9726	1.2930	0.7407
NY 5:00 PM	111.26	1.1207	124.67	0.9730	1.3035	0.7458
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.015/9.515	△25RR	1.850	Yen Call Over		
NY DOW	20,804.84	141.82	債券市場	日本2年債	-0.1560	▲0.4bp
NASDAQ	6,083.70	28.57		日本10年債	0.0400	▲0.7bp
S&P	2,381.73	16.01		米国2年債	1.2703	0.2bp
日経平均	19,590.76	36.90		米国5年債	1.7803	0.8bp
TOPIX	1,559.73	4.72		米国10年債	2.2346	0.5bp
シカゴ日経先物	19,695.00	85.00		独10年債	0.3680	2.5bp
ロンドンFT	7,470.71	34.29	為替市況	英10年債	1.0930	3.5bp
DAX	12,638.69	48.63		豪10年債	2.4740	▲2.6bp
ハンセン指数	25,174.87	38.35	商品市況	USD/CNH	6.8743	▲0.0088
上海総合	3,090.63	0.49		ドルインデックス	97.14	▲0.74
USDJPY 3M Vol	9.11	▲0.56%		CRB指数	185.077	2.57
USDJPY 6M Vol	9.37	▲0.36%		NY金	1,253.60	0.80
EURJPY 3M Vol	9.40	▲0.47%		WTI	50.33	0.98
EURJPY 6M Vol	9.88	▲0.23%		Dubai Spot	52.04	1.13

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月19日	22:15	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	欧 消費者信頼感・一次速報	5月	-3.3
5月20日	02:40	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

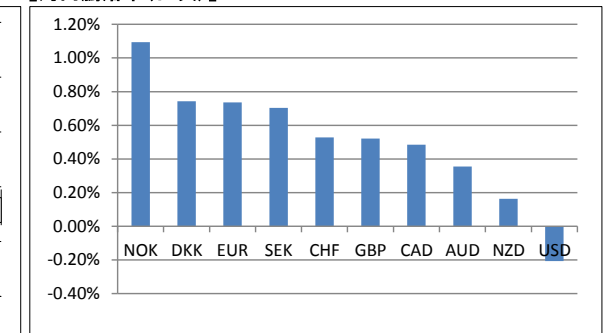
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月22日	08:50	日 貿易収支	4月	¥520.7B
	23:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	23:30	米 カンサスシティ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-112.00	1.1150-1.1250	123.50-125.50

【マーケット・インプレッション】

前週金曜の海外時間のドル円相場は円買い優勢の展開。ロシアゲート問題を巡る米政策に対する先行き不透明感を受けたこともとの円高に伴うポジション整理や米株式市場が前日の安値から戻したこと等を背景に円は一時111円台半ばまで下げたものの、その後はロシアゲート疑惑を巡る捜査で現職のホワイトハウス当局者が重要参考人として特定されたと伝わると再び円買いが活発化、111円付近まで円は上昇した。本日のドル円相場は引き続き上値が重い展開を予想。米政治リスクは少し長い目線で考える必要があり、政策の停滞感が高まる過程では積極的にドルを買う地合にはなりにくいものと想定。一方で米政治懸念がリスクアセットのセロオフへは繋がらなかったこと等を勘案すると、円買い継続に対しても強い理由にはなりにく、目先は膠着相場が続くものとする。

東京	東京時間のドル円は、111.43レベルでオープン、ロシアゲート問題を巡るロシア・米大統領の弾劾懸念が依然として意識される中、前日比プラス圏でよりついた日経平均がマイナス圏に転じたことも相俟ってドル円はじり安の展開から一時111.12まで下落、午後にかけて日経平均がプラス圏に反発すると、押し目買いの動きも相俟ってドル円は一時111.47まで上昇。その後はやや上げ幅を縮小して結局111.23レベルで海外に渡った。(東京時間15:30)
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は横ばい。111.23レベルでオープン。欧州株が堅調推移する中、米10年債利回りの上昇を背景にドル円は一時111.70まで上昇。その後は、米大統領に対する不信任感が続く中で上値の重さが意識され、ボジショ調整の動きも相俟って、ドル円は上げ幅を縮小する展開に結局111.26レベルでNYへ渡った。ポンドドルは上昇する展開。1.2950レベルでオープン。欧州株が堅調する中、ポンドが広く買われる展開にクロス円の上昇も相俟ってポンドドルは1.30台前半まで上昇し、結局1.3016レベルでNYへ渡った。(ロンドン時間17:00 丸野)
ニューヨーク	海外時間のドル円は111円台半ばを挟んでの方向感に欠く推移が続き、111.26レベルでNYオープン。朝方に、ブラード・セントルイス連銀総裁の「3月のFOMC意向のデータは比較的弱い」「Fedの利上げ見通しはアグレッシブ過ぎるかもしれない」とのハト派寄りな発言を受けて、ドル円は下値を試す動きにこの日の安値となる111.04まで下落。しかし、111.00割れには至らず反発、原油価格が一段と上昇する中で米株も上げ幅を拡大すると、ドル円は一時111.67まで上昇。週末を控えた様子見ムードが漂う中で更なるドル買いにはいたらず、やや上げ幅を縮小する展開。その後は、ロシア・米大統領がロシア政府関係者との会談で「前FBI長官はCrazyだ」と発言したとの報道が伝わるなど、ロシア政権の先行き不透明感が意識される中、ドル円は111.08まで下落し結局111.26レベルでクロスした。一方ユーロドルは堅調に推移し、1.1178レベルでNYオープン、1.12台手前では一旦値を戻すと、堅調な欧州株を背景にユーロ買いが優勢となる中で1.1200を上抜けると1.1212まで上昇し、結局1.1207レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・鶴田